

特色ある取り組み

お茶の水女子大学×株式会社ブリヂストン協定締結記念パネルディスカッション 「女性リーダーが未来をつくる 多様性のある社会に向けて」

2017年1月9日(月)にお茶の水女子大学と株式会社ブリヂストンは女性リーダー育成に向けて協定を締結しました。それを記念して開かれたパネルディスカッションの様子を紹介いたします。紙面の都合上、抜粋となっておりますがぜひホームページで全文をご覧ください。URL: http://www.ocha.ac.jp/news/20170221_1.html



パネリスト

青山 美奈 氏

株式会社ブリヂストン
材料製品評価品質保証部長



パネリスト

津谷 正明 氏

株式会社ブリヂストン
取締役代表執行役 CEO 兼
取締役会長



パネリスト

室伏 きみ子 氏

お茶の水女子大学長



パネリスト

小西 雅子 氏

東京ガス株式会社
リビング本部
営業第二事業部長



ファシリテーター

野村 浩子 氏

ジャーナリスト
淑徳大学教授

野村 まず、協定の調印を終えられたトップのお二人から、なぜ女性リーダーを増やす必要があるのか、お聞かせいただけますか。

室伏 女性リーダーの育成は、大学にとっても学生にとっても、また社会全体にとっても極めて重要です。特に本学から輩出された女性リーダーは、学生たちにとってのロールモデルとして、さまざまな問題に直面したとき、それを乗り越える糧となります。大学にとっては、女性の視点や考え方を教育や大学運営に反映させることで、魅力や強みを生み出すことにつながります。

津谷 社会の構造や人々の生活のありようが大きく変わろうとしている時代には、異なる背景や考え方をを持った人々が集まり、従来の延長線上ではない新しいものを生み出す必要があります。すなわち、少子高齢化の日本においては、高等教育を受けた多くの

優秀な女性を日本社会でうまく活用できなければ、企業として競争力を失うことになると思います。そのために女性のリーダーが必要で、今回の提携で新しいものを生み出せることを期待しています。

野村 小西さんと青山さんは女性管理職としてご活躍ですが、管理職になられてから難しいと感じたことはありますか。

小西 判断しなければならぬ領域が格段に増え、常に判断を迫られることです。それを克服するために、私自身がぶれない軸を持つことと、部下の言っていることを信頼することに努めました。

青山 所属メンバーにはお客さまのために仕事をしていることを理解してもらうようにしています。メンバーを信頼するとともに、私の判断が会社の判断になるので、メンバーに情報をきちんと提供してもらえる環境をつくるのが私の仕事だと思っています。





野村 管理職になってよかったことはありませんか。

小西 管理職になって、管理職にしか入らない情報が多く入るようになって、視野が広がったことは良かったと思います。また、立場がついてきたことで、自分の思っていることや考えていることを発信できるのもやりがいがあります。女性管理職は男性と視点が異なるので、違う視点でものを言えることや、いろいろな目配りや細かい配慮ができるのも女性管理職ならではのメリットだと思います。

青山 自分の判断がそのまま組織の意思決定になる部分が醍醐味です。また、経験者の私が上司として存在することで、私の部署の人が育休などの制度を活用しやすくなると思います。私はダイバーシティを地で行くような生き方をしているのでメンバーに対して良い場を与えられているのではないかと思います。

野村 女性のリーダー育成を進めていく上で、現状の課題と必要な方策は何ですか。

室伏 一番の問題は、女性たちの周囲が固定観念や既成概念にとらわれていることです。まずは若い女性たちに自信を与え

て、いろいろなことにチャレンジする勇気を持たせてほしいと思います。もう一つ大事なのは、女性たち自身が相談できる仲間を作ることです。相談することは決して恥ずかしいことではなく、周りに多様なサポーターを作っていくことはとても大事です。

津谷 1点目は、少数派ではないマス（グループ）を意図的につくることだと思います。2点目は、周りの制度や仕組みを変えることです。当社では事業所内保育所を設けていますが、子どもさんが熱を出してもすぐに行けることは大事だと思いますし、社会が女性をきちんと支援する仕組みを構築していく必要があると思います。3点目は、女性が変わることによって、男性の仕事や生活のスタイルも変わってくるという視点を持つことです。そのことが社会を良くすると思います。

野村 最後に一言ずつ皆さんにメッセージを頂きたいと思います。

青山 「女性の活躍」が達成されて、そういう言葉が早くなければいいと思っています。それに向けて、これからも微力ながら会社の仕組みや人の意識を変える活動を継続して次世代の女性や多様な働き方を支えていきたいと思っています。



小西 これからも管理職の1人として、ますます頑張っていきたいと思います。4月にはガスの自由化も始まりますが、ぜひその際は小西を思い出していただければと思います。

津谷 お話を聞いていて、やはり女性は強いなと思いました。私も上司に仕えていたときに、上司が決められないときは困りました。ですから、間違っても決めることが大切です。女性の活躍は男性の生き方や働き方、社会全体も変えていくと思うので、1年後にもう少し進歩した姿で当社の取り組みについてお話できればと思います。

室伏 生物学的には女性の方がはるかに強いのです。そして、女性は世の中で活躍できる大きな可能性を持っています。ですから、男女の区別なく同じようにチャンスを与えてほしいと思います。男女の違いを上手に活かし、男性にも女性にも働きやすい環境を作って、男女それぞれがリーダーとして育ててほしいと思います。男性も女性も共に手を携えて頑張りましょう。

野村 今日の皆さんの話を伺って、まさしく新しい一歩が踏み出されると感じました。今日はたくさんヒントを頂いたので、このヒントを基に皆さんと共に進んでいきたいと思っています。

